



「こどもボランティアプログラム」参加者大募集!!

みなさん、愛知県児童総合センターに「畑」があることは、知っていますか？
屋外西側の「○△□広場」では、畑づくり、種をまき、栽培そして収穫など、様々な体験をしています。
晴れた土曜日には「こどもボランティアプログラム」を開催して、こどもたちと一緒に「○△□広場」の手入れをしながら、生きものと太陽、空気、水、土のつながりや、植物が成長する緩やかな時間を感じる場所になっています。

「こどもボランティアプログラム」 開催日時 | 毎週土曜日、午前中 ○雨天中止 ※実施日はホームページをご確認ください。



トマトンネル

子どもたちと一緒に竹で土台をつくり、トマトをトンネルのカタチに育てます。



○田(えんでん)

丸いカタチの田んぼで、田植え、稲刈りをします。収穫したお米はみんなで食べ、種もみとして次のために残します。



季節の野菜

春はいちご、夏はナス、ピーマン、秋はサツマイモ、カボチャのように、季節に応じて野菜を育てます。



芝刈り

手動芝刈り機を使って、畑の周りの伸びた芝を刈ります。刈り方は自由で、迷路のようになることも?!



薪割り

薪割り機を使って丸太を薪にします。薪割り機に入らない大きな丸太はクサビとハンマーで叩き割ります。調理や、ACCC「土を焼く」で使います。

○△□広場計画とは

子ども、スタッフ、ボランティア、デザイナー、皆が輪(○)になって参画(△)し、広場(= Square、□)をつくる計画です。この広場でなくては感じるこの出来ない自然や屋外の環境の豊かさが自ずから感じられる場を目指しています。歩きたくなる、そっと耳を澄ませてみたくなる、おいをかいでみたくなる、多様な気づきにつながる広場を、時間をかけて皆でつくっていきたく考えています。

環境デザイン/石松丈佳(名古屋工業大学 教授)

| 春季特別企画 |

親子でたんけん 伝える・ 伝わる?!

ことばや文字だけでなく、カタチや色、てざわり、もの、気持ち、様子などをいろいろな方法で「伝える」ことや、それらがどんなふう「伝わる」かを、遊びながら体験して親子で楽しみました。



令和5年春季特別企画として実施しました。

さわって伝える



自分の気持ちにあわせて選んだ手触りと同じ手触りがはいたボックスを探します。みつけたボックスに書いてある文字をつなげると、手触りが不思議な呪文にかかります。最後に呪文を「音カン」に入れてほかの人にも伝えます。

ドバンガ



土の粘土でつくった版に、今の自分の気持ちを絵や模様で描いて紙に写します。

かげで伝える?!



影のシルエットで「相撲をとる」「遊ぶ」「パイパイ」「集まる」などの動きを伝えてみます。

おしゃべりパイプ

小さな声でパイプでつながってる誰かに伝えます。

ピタカード



カードをだしあって同じマークがでるかどうか、気持ちが伝わるかどうか試します。

みつけてみようこここ



風景カードとヒントを頼りに場所を探します。

バタバタモニター



バタバタと体を動かすと誰かと通信できるモニターで遊びます。※大久保拓弥さんの作品

さがしてみようこここ



透明のフィルムにさまざまな色やカタチの素材を挟んで気持ちを伝えます。チーム○△□(えんさんかくしかく)によるプログラムです。

子育ての おはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第 49 話

バタフライタッチ

募集と お知らせ

第 11 回 全国児科美対抗 KAPLA 大会

“魔法の板”と呼ばれる「KAPLA®」は創造的な遊びを楽しむことができます。大人も子どもも豊かな発想を存分に発揮して、作品の写真を撮って全国大会に応募してみよう!

日時: 7/22(月)、23(火)、24(水)
対象: どなたでも ※未就学児は保護者と参加
定員: ①13:00-②14:00-③15:00-
④⑤は各10組程度(当日申込制)
④13:00-16:00
⑤は2組(事前申込制)



詳細はこちら



先日ある所で、「この子、集まりの時に歌わないんですよ」と言われるお母さんがいました。その日の集まりのとき、その子はお母さんの膝に寝そべりながら、歌いこそしないけれど、先生のお話を聞いて歌の場面を理解しようとしていたように見えました。帰りに「頑張っていましたね」と言うと、お母さんは「まあまあね」。

お母さんは、心配の方が勝っていたのでしょうか。子どもにOKサインは出してあげられなかったようです。下の子ども眠そうでしたし。

日ごろの忙しさとか、子どもの心配とか、将来への不安とか・・・頭や心の中がいっぱいいっぱいで、ざわざわと落ち着かないときには、子どもに

よい声かけなどする余裕がないときもあろうかと思えます。なかなかこの気持ちは理解されせんね。

そんな時、こんな「ちょっと落ち着く方法」はどうでしょう。「バタフライタッチ」といい、ストレスマネジメントの一つです。胸の前で両手を交差して、自分の胸をトントンと交互にタッチするのです。子どもをトントンするように。私自身も、胸がざわざわするときにやっています。すこし落ち着いてまた歩めます。

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さん、保護者のみなさんが“一緒に”楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

日時: 7/3(水)「えのぐであそぶ」
7/10(水)「土ねんどであそぶ」
7/17(水)「音であそぶ」
対象: 1歳から3歳の未就園の子どもとその保護者
定員: 15組程度



えのぐであそぶ



土ねんどであそぶ



音であそぶ

たまりば—中高生世代の基地—

対象: 中学生・高校生など18歳以下の中高生世代



●中高生ラボ

ボードゲームやカードゲーム、本や楽器などを楽しみながら、思うままに過ごせます。

日時: 毎週土・日曜日 13:30-17:00 随時受付



●閉ざされた児童総合センターからの脱出ver.3 summer

ここは小さい頃によく遊んだ児童館。誰かの策略で10年前に閉じられてしまった! タイムマシンをつけて元の時間に戻らなければ...! 部屋中に散らばるアイテムや暗号のようなトリセツを読み解いて無事に元の時間に戻ることができるだろうか?

日時: 8/17(土) 14:00-16:00 ※13:45集合
会場: 大ホール
定員: 7組程度(3~4人1組)

※ひとりでも、グループでも参加できます。
※謎はすべて大ホール内で楽しむものです。
※2024年3月に実施した内容と同じものになります。

詳細はこちら



最新情報は



※プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。